

総合戦略施策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	誰もが健康でいきいきと暮らせる環境づくり
概要	高齢者が地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりを進めるとともに、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築し、推進を図る。 また、誰もがいくつになっても地域で健やかに自立した生活を送ることができるよう、気軽に運動ができる環境づくりを進めるとともに、未病に対する取り組みを推進し、町民の健康・体力増進を図る。

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% (平成27年度アンケート)	上昇 (平成31年度アンケート)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移				目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30		
健康寿命（国保データベース）	男：65.9歳 女：67.1歳					延伸
新たに運動習慣ができた人の割合	39.5% H28アンケート					上昇
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)						

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
高齢者がいきいきと暮らせる生活支援プロジェクト	Ⅱ
みんなで健康づくりプロジェクト	Ⅱ
成果や課題 (箇条書き)	地域包括ケアシステムの構築にあたり、町域レベルの第一層協議体、及び地域住民レベルの第二層協議体の発足準備を進めた。 生活支援コーディネーターについては、地区社協部会、自治会、ボランティア団体等と連携をとりながら、二宮町の状況に適した設置を検討する。 事業内容をわかりやすくすること、参加しやすい周知方法を検討し、事業の主たる目的が達成できるよう改善する。

該当評価にレを
入れてください

【参 考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
Ⅰ：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
Ⅱ：一部、事業を改善する必要がある
Ⅲ：プロジェクト全体を見直す必要がある
Ⅳ：プロジェクトを休止・廃止する

総合 評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	地域包括ケアシステムの構築にあたり、地域住民レベルの第二層協議体及び生活支援コーディネーターの設置を推進する必要がある。地区社協部会、自治会、ボランティア団体等と連携をとりながら二宮町に適したシステムの在り方を検討し準備を進める。

今後の方向性

来年度に向けての 課題や意見等	総合事業の一環として平成29年3月から地域住民主体で行う介護予防・生活支援の拠点として、11地区社協部会による「通いの場」(13か所で週1回ずつ)の開設の準備を推進する。 また、第二層協議体のモデルとして地域(一色小学校区)と地区長研究会で在り方の検討をする。
--------------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input checked="" type="checkbox"/>	5:その他 [KPIの見直し]
意見等	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、誰もが地域の中でいきいきと暮らせる生活環境づくりは重要な施策であることから、地域や関係機関等との連携により、町に適した地域包括ケアシステムの構築に向けた協議・検討を重ねる必要がある。 また、KPIとして設定した「新たに運動習慣ができた人の割合」については、無作為抽出によるアンケートにより実績を把握することから、「運動習慣がある人の割合」に変更し、その推移により、成果を確認する。